

いっしょに読もう！新聞コンクール 2024 年入賞者

2024年(令和6年)12月10日 火曜日

茨城新聞

七川さん、大久保さん奨励賞

本県選出 学校奨励賞2校

全国新聞感想コンクール

日本新聞協会は9日、家族や友人と新聞記事を読み、話し合った感想を記事と共に応募する「第15回いっしょに読もう！新聞コンクール」の入選者を発表した。本県からは、茨城大付属小3年の七川翔さん、常総学院高2年の大久保吾粹さんの2人が奨励賞に入選。学校奨励賞に常総学院中、県立取手二高の2校が選出された。

族の在り方が多様化している中で、それぞれの考えを押し付けるのではなく、認め合い、その中で解決策を見つけていくのが大切だと思つ」と語った。

(平野有紀)

全国の小・中・高・高専生から計6万1576点の応募があった。最優秀賞には、安田学園安田小(広島県)5年の村上正真さん、広島大付属中(同)2年の富田花音さん、福岡県立東筑高3年の柴田深冬さんが選ばれた。

団体応募は481校からあり、日常的に新聞に触れる活動に取り組んでいる15校に優秀学校賞、190校に学校奨励賞が贈られた。

「コメ上昇5キ2000円迫る」をはじめ三つの記事を読み、父親と話合った。「毎年、おじいちゃんのお米作りを手伝っていて、お米に興味があったから記事を選んだ」と振り返り、「(受賞は)うれしい。新聞を読むと、社会や世界で起きていることが分かる。面白い」と話した。

大久保さんは読売新聞に掲載された「『無縁遺体』3割増」の記事を友人と読んだ。「家族間で話すきっかけにもなった。社会や家



七川翔さん



大久保吾粹さん